

埼玉県における農業の6次産業化の取組について

1 取組の概要

(1) 取組方針

- ア 個々の農業者等の経営状況に即したきめ細やかな支援
- イ 計画に基づいた農業者等の取組の推進
- ウ 6次産業化に関する幅広い協力体制の構築

(2) 目標

新たに農業の6次産業化により開発された商品数
250品目（令和3年から令和7年度）毎年度50品目

(3) 支援対象

- ア 県の6次産業化事業計画（以下「経営ビジョン」という。）を作成した者。
- イ 「六次産業化法」に基づく総合化事業計画を作成した者。
- ウ その他、上記と同等の計画を作成した者及び作成しようとする者。

(4) 農業の6次産業化支援事業の内容

ア 趣旨

6次産業化に取り組む農業者等の発展段階に応じて、戦略的かつ実践的な支援を行い、農業経営の多角化と強化を図ることで、収益力向上と地域振興を目指す。

イ 戦略的6次産業化支援事業

6次産業化に取り組もうとする農業者等の経営志向を、経営ビジョンの作成により明確化させ、発展段階に応じた6次産業化の取組を支援し、経営能力を向上させる。

ウ 6次産業化ネットワーク活動推進事業

国の支援制度活用に向けたネットワークの構築や総合化事業計画の作成支援及びフォローアップを行うとともに、多様な事業者等の連携の下、取組を行う市町村等への経費助成を行うことにより、地域が持つ魅力を最大限に生かした6次産業化を支援し、地域の活性化を図る。

エ 令和3年度取組成果（令和3年12月末現在）（（ ）内令和2年度）

- (ア) 新商品開発数 34品目（45品目）
- (イ) 経営ビジョン作成件数 15件（8件）
- (ウ) 六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定件数 1件（0件）

2 令和3年度の主な取組内容

(1) 戦略的6次産業化支援事業

ア 経営ビジョンの作成、実践支援（商品開発・販路開拓支援）

農業者等の6次産業化に対する志向を明確にするため、普及指導員による個別相談等により、経営ビジョンの作成を支援した。12月末現在で15件の経営ビジョンを作成した。

また、作成した経営ビジョンが実現できるよう、商品開発や販路開拓等に関し、企画推進員が発展段階に即した実践的な支援を行った。

さらに、令和3年度は「埼玉県6次産業化支援検証委員会」において、支援対象者（農業者）として4者を承認した。また、その課題解決の支援を行う専門家を選定し、「埼玉県6次産業化プランナー」として登録した。なお、県農業技術研究センター農業革新支援担当（6次産業化）を6次産業化プランナーとしている。令和3年度埼玉県6次産業化プランナーは9人（うち2人は、農業革新支援担当）登録した。

イ スキルアップ研修会の開催

農業者等に対し、農業の6次産業化に取り組む上で必要な専門知識を習得するため農林振興センター管内においてスキルアップ研修会を開催した。

【開催実績】

センター	開催日	開催内容・開催場所	参加人数
さいたま	4月27日	HACCPに沿った衛生管理計画の作成について 浦和合同庁舎5階 第5会議室	8人
さいたま	7月21日	農産物の加工販売に関する制度と野菜の衛生管理 さいたま市見沼グリーンセンター	20人
さいたま	11月9日	ネット販売初心者講座 浦和合同庁舎別館	15人
川越	4月27日	HACCPの義務化対応と適切な食品表示について 越生町役場3階委員会室	22人
秩父	5月7日	衛生管理研修会（漬物・惣菜） 大里農林振興センター	4人
本庄	12月16日	SNS勉強会 神川町役場会議室	4人
大里	5月7日	衛生管理研修会（漬物・惣菜） 大里農林振興センター	10人
合 計			83人

エ 人材育成研修会の開催

埼玉県農業協同組合中央会との共催により、6次産業化を進めるための市町村や農協職員など、支援者の人材育成を目的に研修会を県域で開催した。

【開催実績】

開催日	内容（開催場所）	講師	参加人数
11月 14日	事例発表 「J A南彩による6次産業化商品の取組」 講演 「農業者支援につながる商品の見せ方」 意見交換 (zoomによるWEB開催)	J A南彩 高橋課長 デザイナー 菊地 俊孝 氏	51人

(2) 6次産業化ネットワーク活動推進事業

ア 六次産業化法に基づく総合化事業計画の作成支援

事業者に対し個別相談等により作成支援を行い、吉見町の生産者が計画認定された。

イ 六次産業化法に基づく総合化事業計画認定後のフォローアップ

6事業者に対し、計画変更や販路開拓等に関する相談等支援を行った。

ウ 6次産業化ネットワークミーティングの開催

連携型の6次産業化を推進するため、農業者に加え商工業者など異業種も対象とした研修・交流会を県域並びに地区別に開催した。

なお、県域の研修・交流会では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講師によるセミナーをユーチューブによる動画配信を行った。

三密を避ける様式での専門家による開発商品の商品評価会を行い、農業者等にフィードバックして商品のブラッシュアップ等を促進した。

【開催実績】 [県域]

	開催期間	内容・開催方法	参加人数
第1回	9月30日 ～10月13日	6次産業化に役立つセミナーセミナー you tube によるオンライン配信	49人
第2回	(ライブ配信)11/8 (録画配信) 11/25～12/16	異業種マッチング you tube を活用したオンライン交流	34人
第3回	1月20日	商品評価会 会場と ZOOM を繋いだオンライン開催	20人

講師 (株) キースタッフ 代表取締役社長 野口 朋宏 氏 他2名
(株) ARAN. 代表取締役 竹内 幹人 氏、坂本 鉄男 氏

[地区別]

センター	開催日	内容・開催方法	参加人数
秩父	11月25日	マーケティング研修（オンライン） 講師：岩崎 邦彦 氏	15人
本庄	11月25日	6次産業化交流会 本庄市商工会議所	18人

エ 6次産業化商品PR会（農業発！新商品お披露目会）の開催

農業者等が開発した商品のブラッシュアップと販路拡大を目的とした交流会を令和元年度まで「埼玉県農商工連携フェア」会場内にコーナーを設けて開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、農商工連携フェアはWEB商談会に特化したため、令和2年度においては中止。令和3年度は、新たな方式を取り入れオンライン（11月24日～2月25日）、オフライン（2月8日～10日）での「食と農のオンライン展示商談会」として同時開催としていたが、感染拡大防止の観点からオンラインのみの開催とし、オフラインでの開催は中止とした。

オ 国の交付金（食料産業・6次産業化交付金）を活用した地域ぐるみの6次産業化に取り組む農業者等への経費助成

【実施計画】

（千円）

事業主体	事業費	予算	事業内容
生産者（吉見町）	3,190	6,067	6次産業化の施設整備事業（米粉麺の製造施設及び設備の整備支援）
合計	3,190	6,067	

※予算額と事業費との乖離は、新型コロナウイルス蔓延により、予定していた事業主体1者が計画を中止としたため。